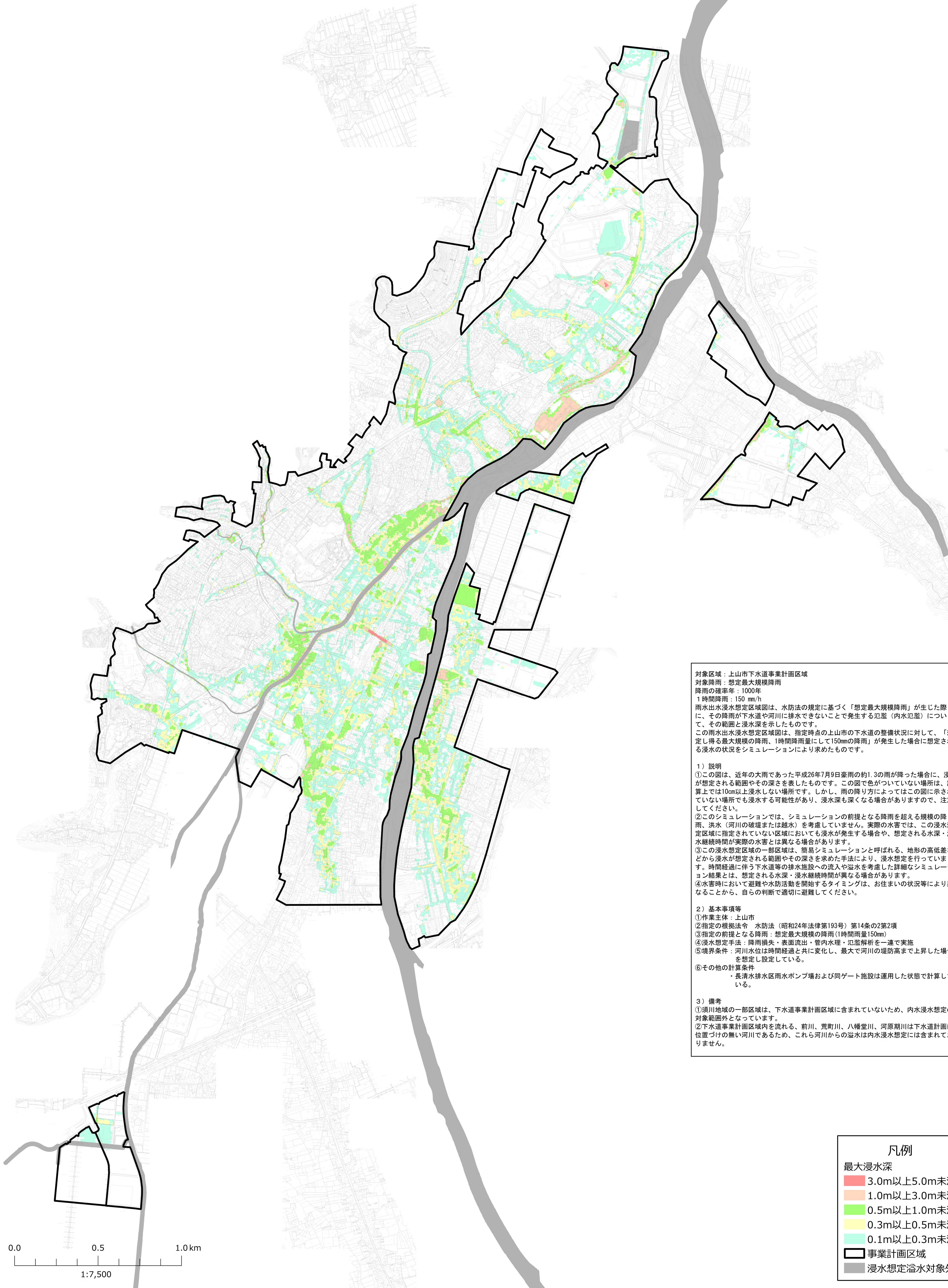
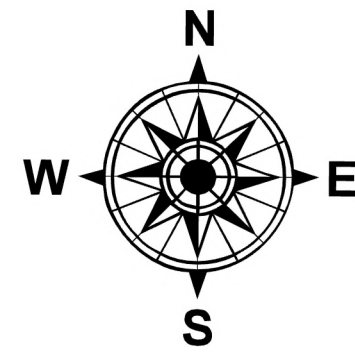


上山市 雨水出水浸水想定区域図



対象区域：上山市下水道事業計画区域
対象降雨：想定最大規模降雨
降雨の確率年：1000年
1時間降雨：150 mm/h
雨水出水浸水想定区域図は、水防法の規定に基づく「想定最大規模降雨」が生じた際に、その降雨が下水道や河川に排水できないことで発生する氾濫（内水氾濫）について、その範囲と浸水深を示したものです。
この雨水出水浸水想定区域図は、指定時点の上山市の下水道の整備状況に対して、「想定し得る最大規模の降雨、1時間降雨量にして150mmの降雨」が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

1）説明
①この図は、近年の大雨であった平成26年7月9日豪雨の約1.3の雨が降った場合に、浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では10cm以上浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので、注意してください。
②このシミュレーションでは、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、洪水（河川の破堤または越水）を考慮していません。実際の被害では、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際の被害とは異なる場合があります。
③この浸水想定区域の一部区域は、簡易シミュレーションと呼ばれる、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めた手法により、浸水想定を行っています。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。
④被害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住まいの状況等により異なることから、自らの判断で適切に避難してください。

2）基本事項等
①作業主体：上山市
②指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
③指定の前提となる降雨：想定最大規模の降雨（1時間降雨量150mm）
④浸水想定手法：降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を連立で実施
⑤境界条件：河川水位は時間経過と共に変化し、最大で河川の堤防高まで上昇した場合を想定し設定している。
⑥その他の計算条件
・長清水排水区雨水ポンプ場および同ゲート施設は運用した状態で計算している。

3）備考
①須川地域の一部区域は、下水道事業計画区域に含まれていないため、内水浸水想定の対象範囲外となっています。
②下水道事業計画区域内を流れる、前川、荒町川、八幡堂川、河原期川は下水道計画に位置づけの無い河川であるため、これら河川からの溢水は内水浸水想定には含まれておりません。

